
岐阜県立岐阜農林高等学校

学 校 長

高 田 広 彦

学 校 住 所

本 巢 郡 北 方 町 北 方 150

電 話 058-324-1145

1 会 議 名 令和5年度 岐阜農林高等学校運営協議会（第2回）

2 開催日時 令和5年10月10日（火） 13:30～15:30

3 参加者

会 長	住田真佐子	北方町民生委員
委 員	川瀬 和弘	北方町立北方中学校長
	所 紗也香	大垣共立銀行ぎふ県庁支店長
	安藤 貴広	本巣市立糸貫中学校長
	今川ふみ代	本校育友会長
学 校 側	高田 広彦	校長
	中野 輝良	教頭
	瀬瀬 和也	事務部長
	井ノ浦慎司	教務主任
	出村 敏行	進路指導主事
	北澤 敦	生徒指導主事
	辻 浩幸	農場長

4 会議の概要（協議事項）

(1) 学校運営協議会の設置運営について

(2) 会長・副会長の紹介

(3) 授業参観

主に学校農場（屋外）における専門科目での学びの様子を参観

(意見1) 農場で学ぶ生徒の姿を初めて見たが、とても素晴らしく頑張る様子に関心、感動した。

(意見2) 生徒たちは正に学習内容を自分ごとと捉えて学びを深めている様子であった。

(意見3) 農場での学習現場で生徒たちの生き生きとした様子が見られた。笑顔で挨拶できることが素晴らしい。社会人としても心がけたい「楽しく仕事する」ことを、高校における学びの場において実践（楽しく学ぶ）できている。

(4) 本年度の教育指導の重点を踏まえた本校の近況報告について

第1回書面決議にて承認の内容を確認

(意見1) 岐阜農林高校での専門的な教育が具体的によく理解できる。

(意見2) 岐阜農林高校の目指す生徒像が明確に示されていて素晴らしい。

(意見3) 生徒を「指導する」から「支援する」に切り替えることで、考え、判断、行動する子どもを育てたいと示されていることが実現してきている。

(5) 令和5年度学校評価の結果と分析について

(特に意見はなし)

引き続き、教育の発展・充実に努めるとともに、生徒・保護者への学校に対する理解がさらに進むよう留意していくことを学校側から説明した。

(設問に対して「わからない」の回答が一定数見られるため)

(6) 学校と地域の連携の在り方について

(意見1) 課題研究の取組について説明があったが、自分たちの学科(領域)だけでは解決できない課題を、学科を横断して取り組もうとしている点が良い。地域との連携も含めて、このような機会を増やすことがイノベーションにつながり、これからの社会で生きる上で必要なものを学ぶことができる学校になる。

(7) 生徒の活躍について

紙面にて紹介

(8) 全体を通して

(意見1) 生徒たちは課題研究等において、自分たちがやりたいことを語る事ができている。このような姿は中学生でも目指させたいし、中学生の目標にさせたい生徒が多くいる。

(意見2) 校則の見直しなどに生徒自らが関わるなど、自分自身が考え、意見を出すことができる生徒を育てている学校が素晴らしい。このような取組が他校や地域に広がっていくことに期待したい。

(意見3) 広大、充実のフィールドで生徒たちはのびのびと学んでいる。生徒たちは一見穏やかだが、夢中になる姿、粘り強く取り組む様子は、まさに主体的に学ぶ姿である。教員が、生徒に気づきの視点や振り返りの機会を与えることで、生徒自身が学びを広め、深めさせられるようにすることが大切である。

(意見4) 岐阜農林高校は昔から変わらず、一貫した教育で生徒がのびのびと学んでいる。今後も生徒たちのため、地域のために、より一層頑張ってもらいたい。

5 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、授業参観において生徒の様子を実際に見ていただき、今年度の学校運営基本方針に照らし合わせて、現状の説明とともに助言をいただいた。

委員の皆様には、引き続き第3回の学校運営協議会において、当校における今年度の取組の評価及び次年度以降、目指すべき姿や方向性についての助言をいただきたい。